ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ便り

2015.10.26

　26日午後3時08分（時差は－3時間１５分）に無事にポカラ空港に降り立ちました。昨夜、岩谷、深田と石井幸子さんが羽田空港に集合、新井場さんが、さくら寮へのプレゼント品を託すために、駆けつけてくれました。折り紙、絵本、DVD などを託され、用意のピアニカなどもあり、私達スタッフの非常食用、ラーメンやクッキーなども詰め込んだ、預け荷物は、３人合計でスーツケースが５個、85kg程になりました。

　バンコックで乗り継ぎ、カトマンズへ、そこから国内便に順調に乗り継ぐことが出来ました。

　幸いポカラ空港には、クリシュナ氏が私達を待っていてくれ、たくさんの荷物と共に２台のタクシーで午後４時に、マンジュさん、警備員さんの出迎えを受けてさくら寮に到着しました。４月の大震災のあと初めて訪れた深田、石井は現地のスタッフのご苦労を思い、感激の再会でした。

　すでに卒業生スジャータ（４期生、昨年度の交換留学生）と、８期生の５人（スリジャナ、ヒラ、ジャヤンティー、コビタ、カルナ）が到着していました。皆元気そうで喜びの再会になりました。明日１４人（７期生５人、６期生３人、５期生のラクシミ、２期生のラルマヤ）が到着予定とのことです。（昨年度の教員採用試験に合格した一人、１期生のシタ・ギムレは妊娠初期のため不参加とのこと）

　早速スタッフ打合せをしました。卒業生６人が屋外の薪ストーブで料理した夕食、ダルバットを皆で囲んだ後、間もなく停電、３階のゲストルームに移り、懐中電灯のかすかな灯りを頼りに暗がりの中で荷物を開きました。石井さんは非常灯のある１階ホールで、卒業生とヨガを楽しんでいました。長い１日が終わりました。明日は明後日から始まる研修会の準備です。

　それにしても、カトマンズのトリプバン国際空港は、すっかりきれいに整備され、正面の広場には噴水が勢いよく流れており、昨年とは見違えるようになっていました（７月に岩谷が訪問した時には、飛行場の向こう端に、地震の後始末の瓦礫の山があった）。多くのタクシーが行儀よく並んでいて、呼び込みの姿は全くありません。国内便空港への道路もすっかり舗装され、スーツケース運びに寄ってくるポーターの姿は無くなっていました。

　タイ国際航空の機内誌１０月号には、ネパールの復興に努力する人々「ヒマラヤの森林地帯で、エレガントな芸術的な紙を生産する人々」の姿が紹介されていました。また、国内便の機内誌裏表紙には「ネパールはもう大丈夫！　国立公園１０の内被害を受けたのは１つだけ。トレッキングコース３５のうち３つだけです。病院もクリニックも大丈夫。ホテルの９０％が営業しています。HELP BY VISITING 」とあります。

　ネパールは力強く立ち上がっているように感じます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（深田記）

2015．10．26　T

　卒業生たちは,在寮していた時と同じように、6時には起床し、部屋の掃除、朝シャンをしている。主体的に食事当番を請け負い支度に入る。

　Santa,Chaya とAnitaが、今朝一番の来訪者である。Chayaはとてもスリムになっている。Santaは２児の母親らしい落ちつきで、大家族の中で嫁業が板に付いたようである。３か月の赤ちゃんと一緒だった。そのあと来寮が続く。4期生のJanaki,Anjana,Dipa,５期生のRadhaの4人が一緒だった。Kamara（D）,Soniyaと続き、夕方はLalmayaと、Laxmiが到着、予想外の卒業生達も集合しそうである。うれしい。

　サンタの夫（マニサの兄）も一緒だったので、３年前、英語の授業を申し出てくれたことを思いだし、今回もお願いすることにした。明日一番にやってもらう。

　９時３０分からミーティングを考えていたが、ガソリンが手に入らないとかで、クリシュナさんが来寮したのは、10時すぎていた。乗合バスで来たとか。ガソリンは今108Rs/Lが400RS/Lとはねあがっているようだ。ありがちな黒幕は500Rs/Lで商売をして儲けているとか。夕方青空レストランで、食事をと出かけたら、無人の車が100台はあるような

長蛇の列に出会った。正規のルートでガソリンを待つ市民の怒りの叫びが聞こえそうであった。

　研修会の全体の流れの確認をした。

　来年の10周年の計画については、十分に徹底することとし、今回は可能な部分は、できるだけとりかかることにした。研修会の一日の後に1時間ずつとり、さくら寮の思い出を書いてもらうこととした。それには、写真アルバムをつけたい。内容については、リーダーを中心に相談し、卒業生達の思いを十分に活かすよう考えることとした。また、当日の発表者、提案者、は今回の卒業生の取組等の発表の内容等十分に吟味し、成果を上げている者、特徴的な取り組みをしている者など候補者を絞るようにした。パネルシアターは古宇田グループの訪問時に検討してもらうことが良いのではないかとの結論であった。

　皆さんの意見も是非お知らせください。

　マンジュさんが、食後買い物に出かけてくれた。ガソリン代が大変だからと一回で済ませるようにリストアップしたりして工夫している。弟のビゼーの助力が大きい。文房具、食糧、換金と大忙しのマンジュさん。

　Sujataは、学校で5000Rsもらい、とても頑張っているようだ。2年生の担任として、多くの教科を教えている。特に、音楽の指導は日本からのピアニカで大いに評判がいいらしい。ピアニカが多くあると、ドレミファの音階から歌までの指導に行けるようだ・・・

教具がうまく手に入るといいのだが。　　　　（岩谷）

10月28日

朝一番で6人来寮、夕方Sumitraが来寮した。

10時よりGaneshさんの英語の授業。

日記から始めたら、学ぶことや教えることにも大切です。

人々が日常にどのように活かしてるか、日記を書けば役に立ちます。

11時半よりKCP新学長スレス先生、ヤダブ先生、ケサブ先生の講義。

13時よりTeaBreakの時間で日本の抹茶の点前（石井担当）

初めての経験の卒業生もいたが皆喜んでもらえた。

14時10分より留学体験の話でスジャータの担当。

先ず皆で英語の勉強の一端で体操をした。皆楽しみながらにエクササイズ。

文京学院大学での生活をスライドショーで説明。

ふじみ野キャンバスでの生活、体験を発表。ルームメイトの事、軽井沢での経験、根津神社のお祭りの行事、京都、広島、伊勢でのホームステイを含めての体験を話す。

軽井沢では今村夫妻にお世話になり、音楽を勉強したり、２月２３日～３月６日までの多くは幼稚園での実習の話などを説明。

体験で覚えた折り紙の話をしながら現在では教室を飾りながら楽しい教室を作って行く様子を話した。

三角小学校での実習体験も話した。

現在自分の学校で教えている中で日本の学校での良い所をネパールでもできる事を取り入れて色々工夫しながら教えている。

最後に岩谷先生、深田先生が日本でのスジャータの留学生としての話として・・・

何でも一人で頑張る事を学んでいた。各学校での評判も良かった事も話された。

皆さんも教える中で、この事を学んで、実践して欲しい。

日本への留学はネパールの代表としての留学なので、頑張ることが大切。

Kamaraが現在留学中で、英語の勉強で大変ですが、頑張っていることを皆さんに伝えて下さい。皆さんも一生懸命に勉強してください、良い教師になる為に、との伝言でした。

スジャータの発表の内容に受講生からの色々な質問が出て、説明した。

この点は私もとても良い事だと思い、内容の充実した報告に感じた。

この感想は岩谷先生も同感だと受講生に話され、報告がとても良い内容の事を改めての印象でした。

４時からは覚えた「縄跳び」と「鬼ごっこを」庭に出て皆でした。皆童心に戻ったように楽しそうに参加していた。

５時半からリーダー会議。

クリシュナさん、岩谷先生、深田先生、Lalmaya,　Sujata, Janaki,　Kamala Dangi,
Sumitra, 石井が参加。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（石井記）

10月29日

　10月29日、今日は研修第2日。私達3人は揃って5時半に目覚めた。

電気のある朝のうちに準備をと、1階ホールへ下りた。今日は曇天で外は暗い。昨夜はかなり降ったらしく、外はしっとりと濡れている。少し明るくなってきたと思う間もなく、停電！　やれやれ。戸惑う私たちを後目に、当番の子たちが動き出した。調理場には2人の姿、3人ほどが床や階段を拭いている。誰かが歌を口ずさんいる。草原のかなたに響くような歌声だ。この条件の中で、動じることなく楽しげだ。

間もなくクリシュナ氏が到着。彼の居住地はかなり激しい雨だったとのこと、自転車は使えず、バスで来た。

８時の朝食の席には、24人の卒業生、思ったより多くの参加だ。この後さらに数名の到着が予定とのこと。嬉しいことだ。

スジャータ、ラルマヤ、カマラ・ダンギ、ディパ、スミトラが集まって9時半からリーダー会。KCPから学長先生、ヤダブ先生、ケシャブ先生を迎えて、10時20分、予定より少し遅れて、今日は8期生たちの報告から始まった。教壇に立ってまだ３ヶ月の卒業生達は、昨日発表の６，７期生に比べて、声が小さく、恥ずかしげな表情で初々しい。

　各報告を聞く先生方から、「授業の中で困ったことは無いの？」などと、質問やアドバイスがはさまれる。フロアの研修生たちからも発言が飛び交う。60分の報告会を終えて、ケシャブ先生から30分間アドバイスと感想があった。退席の際、校長先生から「講義をしたい」と申し出があり、最終日にお願いすることになった。

　午後は、２歳の坊やを同伴して参加したアムリタ（１期生）の報告から始まった。「国家公務員として児童福祉課に所属し、児童の福祉、家庭支援等の問題に関わって仕事をしている。ドメスティック・バイオレンスの問題も多い。」という。続いてサンタ（１期生）の採用試験合格体験報告。彼女はすでに４歳の子があり、今回は３ヶ月の乳児を連れての参加だ。涙ぐましい努力で難関を突破した彼女の体験報告に、研修生たちは皆真剣に聴き入った。彼女の声量たっぷりで、身ぶり手ぶりの堂々たる発表ぶりは圧巻であった（夕食後のリーダー会では、彼女を賛嘆する発言が続いた）。

　今日の最後の研修は、石井幸子さんによる「絵手紙」の実習。すでに経験している卒業生も多く、石井さんの適切な指導により、スムーズに実習が進む。１時間ではがきに絵を完成させた。

　今回も、マンジュ寮母さんの弟ビジェーさんが、写真撮影を中心にいろいろ動いてくれている。日程をすべて終え、今日は早めの夕食。実は、今日はマンジュ寮母さんの誕生日だったのだ。ビジェーさんが大きなケーキを運んできた。私達スタッフもサプライズで祝おうと大きなケーキを用意した。皆で風船を割ったりして楽しいお祝いをした。

今日は朝から１日中静かな雨降り。参加の卒業生は27名になっている。

2015.10.30　金

　昨夜の豪雨も今朝はなく、良いスタートを切ることができた。まだ皆寝静まっている早朝、深田岩谷は 1階のロビーでやり残した今日の準備にかかる。

6時頃には、掃除当番が起きてきて丁寧に挨拶をしてくれる。おもてなしのミルクティーが実においしい。

　9時には朝食、手で食べるネパール式をすっかりマスターした深田さん。

　9時30分からリーダー会議、本日のスケジュールの確認を済ませる。特に問題はない。

Yadab先生が、時刻まで来寮してくださり、深田さん司会で本日スケジュールに沿って、30分定刻より遅れて開始。

　最初は、昨日やっと到着した7期生tesyurinaがまだ3カ月しか教員をしていないので、子どもたちが言う事を聞いてくれないとの報告だった。その次は卒業生報告で残っている１～5期生の報告である。ラルマヤは写真が沢山入っているpcを持参しての報告をしてくれた。トランプを使っての算数指導、捨てられている紙でカードを作って文字の勉強など黒板だけに頼らず、興味を持たせながら授業をすることが大事である。夫にもやり方を教えて、一緒に周りの学校で授業をした。その後彼女は感極まりしばし話すことが出来なくなった。今自分は職がない寂しさ、一気に込上げてきたようである。義父の突然の自殺、受験勉強がままならず、失敗したこと等々、きらきら輝いているサンタやスジャタがとてもうらやましかったらしい。**決してあきらめない** 必ず良いことが待っているからと励ますしかなかった。しかし、実に具体的な実践例を力強く報告してくれた事が嬉しかった。

　続いて、スジャタの報告、日本での経験は済んでいるのでその後の今の学校の取り組みを報告してくれた。ピアニカでドレミファ・・を教えていること、日本からのお土産等飾り、教室環境を整えたこと、机の配置をグループにして勉強しやすい環境にしたこと、しかし、3人の男の子が学校にこないので家庭訪問したりして、努力している事など報告があった。

　その後ラクシミの報告では、学校まで5時間かかるので、近くに引越しをした。先生方は11時にならないと出勤しないので、ラクシミは10時には出勤して、掃除をしたりして頑張っている。相変らす、教員の服務意識の低さが気がかりである。

　第二セクションはRadab先生の講演、教師としての心構え、どんな子でも良さをもっているから、その才能を伸ばしてあげるのが教師、それぞれのレベルに合わせて教材を考える事が重要、

　古い教師を辞めさせる政府の方針があるが難しい、何とか子どもたちが分かるようにしたいという気持ちが無いと、教科書を教えても意味がない、答えを言うのではなく、問題を出すのが教師、等々今ネパール教育での課題を具体例を交えながら話し、卒業生達を励ましてくれた。いつもこの先生の講話は好評である。

　第三セクションは、絵手紙の2回目、義捐金をいただいた方々へのお礼状として、200枚近く作成した。昨日に比べ、格段の上出来であった。義捐金支援報告に同封して欲しい。

　最後に岩谷の「伴って変わる量、比例」の学習、多くの卒業生は算数苦手意識がある。

ジャガイモ50RS /kg　の身近な例を出し、導入教材とした、それから折り紙で階段を作りその周囲の長さと段数の関係を推測した。よく理解できたようだ。ご褒美に手品を最後に披露、成功出来てホッツ！

　17時20分、新井場さんとスカイプで数人の卒業生が話す。大喜び、新井場さん遅い時間お付き合いありがとうござました。　　　　　　　　　　　　（岩谷）

10月31日

サハラ先生が夜行バスでさくら寮に早朝来寮。

10時から講義

23年前から今の仕事を続けているとの話。

白板に書かれた内容は今日の時間内では全部は終わらないと思いますが出来るだけしましょう。との事。

話す、聞く、読む、書くはとても大切なこと。このテーマについて話す。

話す、聞く：２人ずつで他個紹介

ペアを作ってグループ毎に討議

読む：沢山読めば人生で成功する。例えば、新聞を読みニュースについて子どもに伝える。

書く：グループ分けでテーマを出しやらせている。

小さなグループにして呼んで仲間に聴かせる。読み、聞く、話すことも練習になっている。皆さんが書いた事で教科書の様なものが出来ている。色々と利用でき、図書館において利用できる（先生の作った作品をさくら寮に寄贈）

物語を読ませる。

サッカーボールの話、喉の渇いたカラスの話等黒板に書けば、子どもが良く理解出来る。読むと楽しいことを教える事が出来る、文章が難しくても理解出来るようになってくる等の話をして下さった。

これらを全て組み入れたビンゴゲームをした。

Sujata,　Arati,　Lalmayaから楽しく教える事が出来る、教科書だけではつまらない、質問する事によって面白くなる等の発言があった。

最後に先生から「学んだことを自分の学校で実践してみるように」とのアドバイス。

12：30からTeaBreak　石井担当　初日に続いてお抹茶で一服。サハラ先生も一服。

日本にいらした時、お茶席に入り体験された事等話され、大変喜んで頂けました。

13：30からKCP　Manandhar学長の講義。経歴等、自己紹介がある。

パワーポイント使用で、子どもの権利について詳しく話された。ネパールの教育の現実等も話されました。盲人の16歳の女子の話をDVDで見ながら話し、彼女の頑張りに「人生は色々ある、然しどのように活かすかは自分で考えるべき」との話がありました。

15：00から深田先生　　ネパールの英語教科書ｸﾞﾚｰﾄﾞ1~5を読んでも文字を読ませ書かせるのは現状として無理がある。時間をかけて丁寧に指導する事。自分の英語力を高める努力をすることが大切との話。

15：10から　総括としてKCPの先生方のご意見を拝聴。

今回の悪条件の中、大勢の参加者が来られたことは大変嬉しい事、頑張っている卒業生にKCPも何か考えたい。日本からJEFEAの方々、他のJEFAの皆様方からの支援に感謝している事。卒業生が各地の学校で良い教師として仕事をしている事も良い事です。

今回の中で、「話す、聞く、読む、書く」事の大切さを再度話された。17：00　Farewell Party　タカリキッチンで皆さんと歓談。フォローアップセミナーの修了を報告、卒業生のこれからの更なる活躍を約束して乾杯した。

厳しい現状の中大勢の参加者があり、FUSが出来た事を嬉しく思います。（石井記） 。

2015年11月1日（日）

　快晴、マチャプチャレ山、サランコットの丘が朝日に映えて美しい。

　昨日で研修日程はすべて終了した。研修生、スタッフとも全員元気で今日を迎えられたことに感無量だ。朝食後、給料5カ月分とダサイン手当1か月分を、研修会全日程の感想を1階フロアで書き、終わった卒業生、（6､7､8期生）から順にマンジュさんから渡す。8期生にとっては嬉しい初めての給料。岩谷理事から「JNFEAの多くの支援者からです。それを忘れずにしっかり仕事してくださいね。」と話した。

　昨日まで28人の卒業生が参加したが、1人だけ　ビパナ・BKが最終日の朝到着した。マンジュさんの話では「いつも遅れる。試験も受けなかった。」というので、昨日、研修日程終了後に深田が立ち会って、遅れた理由を本人に問いただした。「忘れていた」との本人の弁。マンジュさんから、そして深田からも「今後は忘れずにきちんとメモするなどして、遅れないように」と注意した。

　昼ごろから三々五々と寮を発つ。帰路に4日かかると答えながらも、明るい表情で出ていく卒業生には、心からの声援を送りながら見送る。チャヤクマリ（7期生）は、寮の入り口まで迎えに来た夫を、私達に促され、はにかみながら紹介した後、共に寮を後にした。午後になっても約半数が残っていて、あす早朝に発つという者や、さらに1～2日滞在する者もあるようだ。

　今日は、研修会の記録整理や会計処理などの事務処理、ネパール語で書かれた卒業生のレポートの翻訳などで、クリシュナ氏やマンジュさんをはじめスタッフは多忙。日本語をすっかり上手に使いこなせているスジャータ(昨年度交換留学生)に、たびたび声をかけ、翻訳や通訳をお願いし、大いに助けられた。

　事務作業の合間に、クリシュナ氏は、「ニ十四の瞳」をネパール語で出版したいと考えていると深田に語った。

　午後、現地理事の宮原氏（ヒマラヤ観光社長）から、夕食にお招きくださる電話が入った。

昨日からこちらへ来ている小野寺さんのツアーをお世話している関係で、さくら寮を訪れている小野寺さんと共に私達スタッフにも声をかけて下さった。

夕方、迎えの車で宮原氏の事務所へ案内された岩谷、深田、石井は小野寺さんとともに、ネパールの現在の政治、社会情勢などをうかがいながら、美味しい日本食に舌鼓の楽しい時間を過ごした後、寮へ送っていただいた。

2015年11月2日（月）

　早朝、4時7人の卒業生が家路につく。私達もいよいよ寮を離れる。8日間お世話になって部屋を入念に石井さんが掃除をして下さり、荷物は7時に1階に移動。お土産で一杯だった2つのスーツケースは空っぽになり、もう一つの小型のスーツケースがすっぽり収まった。

マンジュさんがいつも言う。「あなた達はお土産運ぶ人ですね」と。。。

　ピアニカ、鉛筆、チョーク、歯ブラシ、ハンカチ、浴衣地再生のスカーフ（深田手作り）、サニタリーセット、算数セット、数字カード、単語カード、マーカーペン、ソーイングセット、折り紙等々。ピアニカ４台はスジャタに渡した他、28日夜28人分に程良く分配し、くじ引きで順に好きな物を取ってもらった。贈り主をそれぞれ紹介し、多くの方々が支援して下さっていることを伝え、大事に活用してもらうよう話した。皆「ありがとう」と日本語でお礼を言う。

　９時には、朝食を済ませる。今日もダルバート。ポロポロのご飯もうまく飲み込めるようになり、味の濃いダルスープにも我慢できるようになった。アチャールの漬物は、作り方をマスターした料理好きの石井さんが講釈をたれる。クミンの香辛料が効いているらしい。築地で買うと安いとか・・・・

　2014年度の一年間の取り組みの翻訳をクリシュナさんがしてくれ、それを石井さんがタイピングしてくれた。石井さんの早く正確なタイピングには大いに助けられる。

　一方、全日程の各人の感想をSujataが日本語に翻訳して、読み上げ、深田さんが文字化するというこちらのコンビもうまく行っている。一人10分はかかるようで、遅々としているがSujataは勉強になりますとポジティブである。

　出発時間10時30分まで、熱心に取り組んでいる。私のパソコンはすっかり私から離れてしまった。（うれしい悲鳴）

　さくら寮前で、空港までタクシー交渉、ガソリン不足を理由にべラボーに釣り上げるドライバーが多い。クリシュナさんの交渉で700ルピーに収まる。スーツケースは預かりの新井場さんの空っぽのケース一つが含まれて4つに。空のケースに入って日本に行きたいとスジャタ。完全に重量オーバー残念！　また深田さんのケースは、ちょっと大きすぎて入らない。JICAへのお土産だけが寂しく・・だから6kg。しかし、空白スパースは卒業生達の充実感と希望が詰まっている？？？

　ポカラ空港出発ロビー大変身。実に綺麗に整備されていた。7月には工事中だった壁がオープン、ガラス張りのショッピングスペースに、何回か来ている深田さんも石井さんもびっくり。Simrikの赤い16人乗りの飛行機も苦にならず左側に席をとり、ヒマラヤ山脈を満喫。

　予定通り、12時40分にカトマンズに到着、ここでもタクシー交渉、今やゲーム感覚、1500ルピー等などどのたまう。800ルピーで手を打つ。

　紘子さんが待っていてくれた。ロビーであれやこれやと話が進み、紘子さんの案内で王宮ひろばの地震跡を見に行くことになった。11月1日から拝観料1,000ルピーにＵＰ。これは募金だね。とタクシー交渉ゲームとはちがい久々淑女らしい。

7月以来、瓦礫等の整理はされたものの修復はほんの一部、王宮菩提寺の修復が人の手で解体作業が始められていた。ドイツが一部復旧工事を決定しているとか、日本政府は学校、病院等の支援を中心に考えているらしい、との話をうかがいながら、傾斜した寺院、上部がすっぽり無くなっている寺院等々の映像を、心とカメラに収めた。

夕飯は、小野寺さんと一緒に、サンセットビューホテルのレストラン・日本食を頂く。小野寺さんの韓国映画の話が実に面白い。　　　　　　　　　　　（岩谷記）

11月3日

朝10：30アポイントのネパールの日本大使館へ岩谷さん、深田さん、石井で訪問。

浜田清彦一等書記官（広報文化班）中野卯一郎（Second Secretary）氏と面会。

一番に昨日の毎日新聞の記事の話を中野氏からされたのには嬉しい反応であった。

JNFEAの取り組みを岩谷さんが説明。FUSの話をされ、4日間の内容を今回のアルバムで説明、日ネ60周年記念行事の瀬尾真喜子氏の演奏会の件については、会場等再確認をして、浜田氏に連絡をする事、大使館側から協力出来る事があればします、との話をされた。

さくら寮10周年記念式典についての招待についても先の話であり、直前に再度連絡する事を約束。中野氏は3日前にサランコットを尋ね、宮原さんのホテルの工事状況も把握、工事は中断している旨を話された。女子の教育のさくら寮でのプロジェクトの説明を中野氏が浜田氏に説明、又チャウパティの件、毎日新聞の記事の話も説明された。

忙しい中での短時間ではあったが面会出来、プロジェクトと主旨の話が出来た事は有意義であった。

14：00からJICAネパール事務所に訪問、清水勉氏、川俣大和氏、Kiwako　Nishimae氏と面会。岩谷さんがJNEFAの主旨説明、ホップステップ事業の報告、今後の取り組みを説明。深田さんがチャウパティの件等を説明。岩谷さんが過去に卒業生の赴任地の極西部地区等を訪問した話、スジャータのカピルバストーの学校をモデル校にしての取り組みの件等を話し、校長先生もとても好意的に真剣に取り組むと言う事も話し、加えて現地スタッフ、Safara先生も快諾されている旨を話した。プロジェクトでのさくら寮10周年の記念式典の話し、招待の件も話した。

卒業生の国家採用試験、合格取り組みの話、合格者7人の受験に向けての各自の努力、苦労話等をした。深田さんがJNFEAでの「おなご先生」の目標である旨の話をされた。

東京のJICAに28日に書類提出した件も話す。西前氏から審査は11月中にも結果が出る事を通達。JICAとして研修生と11月中頃にさくら寮訪問ということ、詳細はマンジュさんと打合せをすると言う事を話されました。

今回の目的の一つとしてのJICA訪問、在ネパール日本国大使館を訪問出来ました事をご報告致します。 　　　　　　　　　　石井記